

本学のテニュアトラック制度

目 的	優れた若手研究者及び教職経験者等多様な人材をテニュアトラック教員として採用し、教員養成を担当する教員として養成し、公正かつ厳格な審査を実施の上、教育研究上又は業務の遂行上優れた実績を認める場合にテニュアを付与し、もって本学の教育研究等の充実に資する。
定 義	<p>(1) テニュア 任期の定めのない教員としての資格をいう。</p> <p>(2) テニュアトラック制度 テニュアトラック期間満了時までにはテニュア審査を行い、可とされた教員にテニュアを付与する制度（テニュアの付与が不可となった場合は、テニュアトラック期間満了をもって退職する制度）をいう。</p> <p>(3) テニュアトラック教員 テニュアトラック制度により採用された教員をいう。</p> <p>(4) テニュアトラック期間 テニュアトラック教員として採用されてからテニュアを獲得するまでの期間（テニュアの付与が不可となった場合は、当該任期が満了するまでの期間）をいう。</p> <p>(5) テニュア審査 テニュアトラック教員の教育研究活動の実績及び教育研究その他の必要な能力を厳正に評価し、テニュアを付与するための資格審査をいう。</p>
職 名	教授、准教授、講師、助教
資 格	教員選考基準を定める細則第2条～第5条の規定のとおり
期 間	原則5年以内
公 募	原則公募
給 与	国立大学法人兵庫教育大学新年俸制適用教育職員給与規程(令和2年制定)による
研究環境の整備	学長は、研究スペースの確保、研究資金の措置、その他テニュアトラック教員が自立して研究活動を行うことができる環境の整備に努めるものとする。
教員選考及び資格審査の会	<p>教員選考委員会が実施する。</p> <p>(構成) 理事・副学長 2名 専攻代表委員 3名 専攻・コースの教授3名 計8名</p>
教員選考方法	※通常の教員選考（採用）と同様とする。
中間評価審査	<p>テニュアトラック期間の第3年次の終了までに、次の評価項目について審査を実施する。</p> <p>(1) 本学採用後の教育業績の状況</p> <p>(2) 本学採用後の研究業績の状況 ※大学院連合学校教育学研究科のいずれかの連合講座の主指導教員資格又は指導教育資格の資格判定に関する基準に基づき評価を実施。教授・准教授・講師については、テニュアトラック期間の最終年度までに主指導教員資格又は指導教育資格を取得する見込みがあるか判断する（教授は主指導教員資格とする）。助教については、日本学術会議協力学術研究団体が発行している査読のある学術雑誌に掲載された学術論文（又はそれに相当する論文・著書）5編（テニュアトラック期間中の1編以上を含む。）以上の業績を有する見込みがあるか判断する。</p> <p>(3) 本学採用後の競争的外部資金応募・獲得状況、大学運営、社会貢献等の状況</p>

テニユア審査	<p>テニユアトラック期間満了の1年前から6月前までに、次の評価項目について審査を実施する。</p> <p>(1) 本学採用後の教育業績の状況</p> <p>(2) 本学採用後の研究業績の状況 ※教授・准教授・講師については、大学院連合学校教育学研究科のいずれかの連合講座の主指導教員資格又は指導教員資格を取得すること（教授は主指導教員資格とする）。助教については、日本学術会議協力学術研究団体が発行している査読のある学術雑誌に掲載された学術論文（又はそれに相当する論文・著書）5編（テニユアトラック期間中の1編以上を含む。）以上の業績を有すること。</p> <p>(3) 本学採用後の競争的外部資金応募・獲得状況、大学運営、社会貢献の状況</p> <p>※大学院連合学校教育学研究科の主指導教員資格、指導教員資格を取得した時点で、本人の希望により、テニユア審査の受審を繰り上げて行うことができる。</p>
テニユア審査の流れ	<p>1回目 教育研究業績等の確認 （教育業績、研究業績、外部資金獲得状況、大学運営、社会貢献等）</p> <p>2回目 面談（必要に応じて授業参観）</p> <p>3回目 テニユアの付与・職名の確認→投票→決定 （評議会）審議・決定 （教授会）報告</p>
テニユアを付与する場合の職位	<p>助教 → 講師又は准教授</p> <hr/> <p>講師 → 准教授</p> <hr/> <p>准教授 → 准教授又は教授</p> <hr/> <p>教授 → 教授</p>
不服審査	あり